

雨上がりの6月29日に白屋の生き物を観察しました。石垣をすみかにする小さな植物たちは、こんなときこそ！と輝いていました。まずは、植物を紹介。



石垣の上でがんばっています！



ヤマトミノゴケ

胞子体の先ついたしずくがあちこちでキラキラしていました。

マルバマンネングサ

川上村の石垣をこの時期、鮮やかな黄色に染めているのは、この小さな花です。



ハンゲショウ

場所によっては一面に咲いて、きれいでした。きっと植栽されていたものが増えたのでしょうね。



キンシバイ

植栽されていたものが半分ヤブの中に。それでも、力強く咲いていました。



オオルリソウ

お花はかわいいのですが、タネが大変優秀なひつつき虫で・・・取るのが大変でした。



ネジバナ

足もとに夏を告げるネジバナが咲いていました。右巻きと左巻きの両方があります。



タチイヌノフグリ

これまた足もとに小さなタチイヌノフグリの花を発見。早春の花なのですが・・・



シロバナモウズイカ

奈良県では白屋で1度だけ記録されたことのある‘珍しい’外来種です。2回目の発見です。

昆虫もいっぱい見ました！子どもたちは、昆虫採集の季節到来ですね！



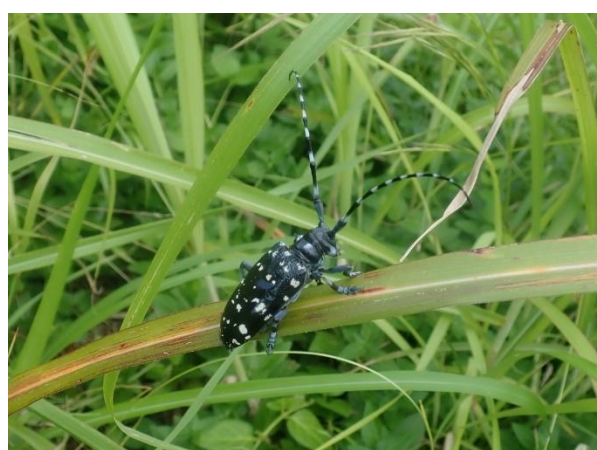
ヒナバッタ



キギリス



シオヤアブ



ゴマダラカミキリ



マダニにご注意を！

葉っぱの上にマダニを発見！草木があれば、必ずマダニが生息していると思ってください。感染症を媒介することもあるので注意が必要です。

野外での活動やレクリエーションで被害に合わないため、長そで、長ズボン、丈の長い靴下の着用などで肌の露出をさけましょう！

家に帰ったら、できるだけ早く服を脱ぎ、体にマダニが付いていないかチェックしましょう。付いていたら自分で取らずに、必ず医療機関で診てもらってください。